

長野県議会における選挙区及び議員定数の あり方の検討に関する要望書

長野県議会におかれては、急速に進む少子高齢化による人口減少の中、次期改選に向けた選挙区及び議員定数のあり方について、平成27年10月からの「長野県議会選挙区・定数研究会」での検討や、更には、平成28年6月からの「選挙区等調査特別委員会」での検討など、厳しい議会改革に自ら積極的に取り組んでおられ、敬意を表すところであります。

特に、県土が広く、町村数が多い本県の特性を踏まえ、県民の意見を反映させるため、特別委員会では各地域での現地調査も実施され、我々町村の意見に真摯に耳を傾けていただいていることに対し感謝を申し上げます。

さて、こうした検討も大詰めを迎えているところかと存じますが、この度の長野県議会における検討結果が、真に県内町村の振興発展に寄与するものとなるよう、下記事項について要望します。

記

選挙区及び議員定数の見直しに当たっては、引き続き地域の意見を真摯に受け止めるとともに、各地域の歴史的な政治風土や文化などの特性や地域住民の暮らし等を踏まえ、住民の理解を得られるよう十分な説明を行った上で、慎重に判断すること。

平成29年11月8日

長野県町村会 会長 藤原 忠彦

長野県町村議会議長会 会長 久保田 三代